

サトウハチロー随筆集

落第坊主

サトウハチロー随筆集

落第坊主



サトウハチロー随筆集
落第坊主

著者承認検印省略

©1971年

昭和46年12月 5 日 初版印刷
昭和46年12月15日 初版発行

著 者 サトウハチロー

発行者 宮 本 孚

印刷 享有堂印刷(株)
製本 (株)川島製本所

発行所 株式会社 **R 出 版**

(旧社名・オリオン出版社)

東京都中央区銀座 8 の19の 3 ・和泉ビル
振替東京 68782 電話(543)9181(代)

定価 580 円

サトウハチロー随筆集 落第坊主 目次

落第坊主

あっぱれなるおやじ

運命を変えた部屋

小笠原の感化院

停学の原因は……

礼儀正しくするなかれ

母ありてわれあり

母ありてわれあり

かあさん

おふくろのウタ

・	・	・	・	・	・
……	……	……	……	……	……
46	44	42	32	27	20
					14
					8

97

終詩

わが師わが友

おお富田常雄も

音楽の手ほどき

ロッパにカッパに一銭

悲しきサイミン術

福士先生から松本かつじまで

小鳥屋時代

うなぎとメダカと犬と蛇

ラリルレロ玩具製作所

はじめての小説をみてもらった先生

詩のわかる作家中の作家

福士先生逸話集

……
102

……
104

……
107

……
110

……
114

……
117

……
123

……
128

……
135

……
138

……
141

……
145

ボクの浅草

その頃のボクの朝

フランソワ・ヴィヨン

ブペ・ダンサント

エノケン城

浅草詩抄

トンキンサンド

浅草への希望

その頃の宵この頃の夕

ASA KUSAよ、
汝^{そなた}こそ

ASA KUSAよ、
汝こそ

……
194

…… 187
…… 183
…… 179
…… 175
…… 173
…… 167
…… 163
…… 160

失われてゆくもの消えてゆくもの

失われてゆくもの消えてゆくもの

なつかしい音の話

指に匂う秋

正月がさびしくなった

門というものは……

ひび・あかぎれ・しもやけ

おべんとうとおにぎりの話

冬には部屋に花を……

花がもたらすもの

母が残していったものその他

あとがきみたいなもの

…… 210
…… 212
…… 215
…… 218
…… 220
…… 222
…… 226
…… 229
…… 232
…… 235
…… 239

落第坊主

あっぱれなるおやじ

小学校では秀才（でもないかな）、一年から卒業まで優等で通した。ウソだと思う方には、いつも通信簿と三、四枚の副級長の免状をお目にかける。どうして副級長より一枚上の級長になれなかったかという、操行にいささか難点があったからだ（さもありなんという顔をしてくれたもうな）。

小学校は小石川の小日向台小学校、同級生に富田常雄君、一級下に大日本印刷の社長北島織衛氏、一級上に美智子妃殿下の叔父さんにあたる、正田健次郎大人がいた。

富田常雄君が数年ばかり前に中央公論に書いたものによると——サトウハチローのような悪童は後にも先にももう永久に出ないであろう、神武以来の悪童だった——ということになっている。

数え年十四歳で、W中学にはいった。保証人は吉岡虎髯將軍。といっても軍人ではない。明治三十何年かの早慶戦に、早大の応援団長として雷名をとどろかせたオジさんだ。この野次將軍が、つくった応援歌が、

——見よや早稲田の野球団

見よや早稲田の健男児

腕をふるうは この時ぞ

ふるえふるえ……

というのだから、ふるってる。おまけにメロディーが、——ちいさき鉢の花バラが……という当時の流行歌と同じふしなのだから変なものだ。ついでだから書いとくが、慶応の応援歌も大したことはない。

——天は晴れたり 気は澄みぬ

自尊の旗風 吹きなびく

城南健児の 血はほとぼしり

ここに立ちたる 野球団

これは、その頃少年たちが唄っていたアメリカのワシントンをつたえるウタとそっくりなのだ。ふしばかりでなく、文句もワシントンのつくりかえなのだ。いまなら盗作問題が起きるところだ。

余談はさておき、とにかくW中学へはいった。小学校時代から野球をやっていたので、すぐに野球部に入れてもらった、同級には入江たか子の兄貴の東坊城光長だの、後年早大の名遊撃手として活躍

した榎本行部などがいた。ミイラ博士の安藤更生は三年生で、ボクと同じに球ひろいをしていた。はじめて野球の練習に出た日にわたされたのが、グローブやミットではない。長い柄のついた玉アミの兄貴みたいなものだ。

その頃のW中学のグラウンドは、虫封じのおふだで名高い穴八幡の下のひろっぱ。ホームから一塁、それからライトのうしろをまわって流れてる細い川があった。選手たちが、フリーバッティングをする、ファールがとぶ。そのファールが右へそれると、この川へとびこむ。それを空中で受けとめる役を命ぜられたのだ。何のことはない、とんぼの代りにボールを、つかまえてる形だ。

家にかえっておやじに話したら、クワックワックワッ（これがおやじの特長のある笑い声だ）と笑って、

「おもしろい」と、ぬかした。

「何事も、修業、空中受けとめの術に精進せよ」

と、おかしい訓戒をたれた。勝手にしやがれた。

野球の練習がおもしろくなりだすと同時に、それまでひいていたピアノと別れた。ボクより四つ年上で音楽家志望だった姉が胸の病いで茅ヶ崎へ転地したからだ。ピアノは七つから、やらされたが、姉がそばについてガンとして動かないので、しかたなく、一日に二時間ぐらい、指をあちこちへ移動

させていたのだ。

姉の病氣をよろこぶ奴はいないだろうが、正直に言って「しめた」と手をたたいたのだ。

一学期がすむと教室の席順が変った。一学期の成績できまるのだ。後列の一番左の隅が、成績最上等の生徒。それから右隅まで八人ならぶ。次は後から二かわめの列、九番から十六番まで……という具合なのだ。

名前を呼ばれて席についたら、最前列の尻から三番がボクの場所だった。これには、いささかおどろいたが、しかたがない。ボクのあとが通称相良のモッチン。これは大隈重信爵（その頃は伯爵）の親類で、大隈家の邸内に住んでいた。

このモッチンと、席をならべてから、急速度にしたしくなつて、グラウンド以外ではいつもいっしょにいた。

大隈邸に温室があつて、その頃では非常にめずらしいメロンをつくつていた。モッチンがある日ボクの肩をたたいて、「めずらしい水菓子にくわせるからこいよ」と、きた。おお水菓子という言葉の響きのなつかしさよ。

温室でメロンを盗む手伝いをしたのだ。小学校時代には、いつでも主犯だったが、この時は共犯であつたことを強調しておく。

メロンを二個、首尾よくぬすんだが、温室を出る時に、バッテリー人にぶつかったのだ。大隈家に食客をしていた温室係りをやっていた大学生だ。

両手をひろげた手の下をかくぐり、逃げた逃げた。学僕大将は逃がしたるものと追いかける。やつのことで、裏路へ逃げこんで、モッチンと顔をみあわし、メロンなるものを割ってくつたが、こりこりするだけで、味もそっけもなかった。長い竹棒をふりまわして追いかけた学僕大将は、いま映画界で早取りの名監督だといわれてる渡辺邦男氏だったのだ。邦さんよ、あの時は、ほんとうに申しわけございません……とおそまきだが、おわびをしておく。

三学期になったら、モッチンの席とボクの席とが入れかわった。それでもあとにもう一人いるはずだが、そいつがなんと病氣欠席で、当分休学というところを出したのだ。ゆえに……もういわなくてもおわかりでしょう。小学校の秀才は、かくてどんじりにひかえる身の上となってしまうたのである。

二月の半ばに職員室に呼ばれた。

校長は平沼淑郎先生、教頭は中野礼四郎先生（この方は後に校長になった）、その中野先生が、

「サトウ、君の成績ではとても上へあげるわけにはいかない。原級にとどまってもらうよりしかない。」

落第といわずに原級にとどまれはうまいと感心してたら、中野先生はまわれ右をして消えた。

その日わが家へもどり、おやじの前におずおずとすわり、事の次第を報告したら、おやじは聞き終るとすぐに、

「そうだろう、そうだろう、あたり前の話だ。わしはお前がもしも進級したら学校へ文句をいいに行こうと思ったんだ」

ときたにはおどろいた。

「机というものは勉強をするためにある。それなのにお前の机の上にあるのは、いつも野球の道具と野球の雑誌だ」

おやじは右手をのばしてボクの頭をコツンとたたき「まアゆっくりやれ、それより方法はない」

あっぱれなりおやじ、よきかなおやじ、自分の部屋へかえって、ボクはちょっぴり涙ぐんだが、おやつの時間には元気をとりもどして茶の間へばくつきに行ったのだから、あきれたもんだ。

運命を変えた部屋

おやじが浅草へ引っこした。

ハッキリいうと、おやじだけが引っこしたのだ。おふくろは、小石川に残っていた。おやじに恋人が出来たからだ。

「お前は、わしの家の方へこい」

おやじにいわれて、ペコリと頭を下げた。おやじのつもりでは、おふくろはまかしておいたらハチローの成績は、ますますわるくなると思ったのだろう。

浅草区（いまの台東区だ）金亀山瓦町十八番地。おそろしく長たらしい町名だ。月に風情を待乳山という唄にある聖天さまの裏の石段をおりたところだ。三階建の倉づくりの妙な家だった。二階の隅の四畳半の部屋をあてがわれた。おかしいことには、その部屋に便所がついていた。便所なんてものは廊下のつきあたりにあるものと相場がきまつてる。それなのに、ボクの個室にはそいつがちゃんと